

## 24 時間モデル事業最終報告

### 感想・意見

#### 【利用者側】

- ・ 訪問介護における身体介護では、18時以降夜間料金になるため、排泄介助も18時前までの利用が多かったが、モデル事業では22時まで料金が一律であることから、就寝前の時間（21時前後）帯に利用しやすくなった。
- ・ 独居や軽度認知症の方は、内服が適切にできず体調が悪化することがあったが、内服確認など適切にできるようになり、悪化が防げた。
- ・ おおむね20分という時間は、必要なことだけしてもらえば良いと感じている利用者にとっては好ましいが、これまでの提供時間に慣れている利用者には物足りないと感じられる両面からの捉え方があった。
- ・ 転倒した時、これまで次の訪問まで我慢するしかなかったことが遅くても20分程度で対応してもらえる。
- ・ 排便時などオムツ交換の負担が家族も減ったし、本人も不快な時間が減った。
- ・ 不安な時など、話すことで安心できる。

#### 【事業者側】

- ・ モーニングケア、ナイトケアの時間帯はやはり集中する。
- ・ 狭い範囲で定期巡回の利用者様が確保できれば、移動時間のロスが省ける。
- ・ 排便や失禁による汚染があったり、体調不良などあると定期巡回の時間を大幅に超えてしまうことがある。
- ・ 一日に何度か定期巡回する場合、訪問時の様子により時間変更して訪問しやすくなった。
- ・ 状態観察がしやすくなった。
- ・ 短時間で適切なサービスを提供し、異常時など適切な判断が求められるので、質の高いヘルパーが必要。
- ・ サービス提供の方法が、これまでのプランとは異なるため利用者・ケアマネ・ヘルパー共に意識改革が必要。無駄のない形で適切にサービスを提供する必要がある。より具体的なサービス計画書（手順書）に基づき、統一したケアを提供しなければならないことを痛感した。
- ・ 今回、他事業所（訪問介護）と連携したケースが2件あり、随時対応での訪問が重なったりすることもあった。できるだけ連携を取り合うように工夫したが、身体状況の申し送りなどが上手く行かないこともあった。